

なつがやってきました！

はにゆうしりつとしょかん

【なつ】

「なつのいちにち」

はた こうしろう/作 偕成社 E/ナ

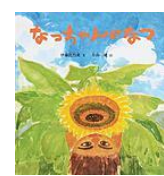
あつあつ夏の日。クワガタのいる山をめざしてぼくは走った。まっ白な日さし、青い草のにおい…ページのなかからあふれだす夏。



「なっちゃんのなつ」

伊藤 比呂美/文 福音館書店 E/ナ

なっちゃんがひとりで川原にでかけてみると、今は夏のまっさかり。夕立におそわれ、家に帰ると、おばあさんからお墓参りにいこうと誘われ…。



「なつのおとずれ」

かがくい ひろし/作 PHP 研究所 E/ナ

「梅雨明けはもうすぐでしょう」と伝えるかたつむりの天気予報。すると太陽が「そろそろみんなに知らせますか」と立ち上がる。その気配を感じたスイカたちが、一斉に走り出した！



「まほうの夏」

藤原 一枝/作 岩崎書店 E/マ

夏休みに入っても退屈していた僕と弟はおじさんのハガキに大喜びして田舎にいった。食べ物はおいしく虫取りも面白い。友だちもできたよ。僕たちをまっ黒にした夏休み…。



「じっちゃんりのなつのいちにち」

かとう あじゆ/作 文溪堂 E/ジ

種を見つけに出かけたじっちゃんり家族。ところが急に大粒の雨が降り出していました。雨宿りするためにじっちゃんりたちが隠れたところとは…。



「トマトさん」

田中 清代/さく 福音館書店 E/ト

ある暑い夏の日。真っ赤なトマトさんは小川に泳ぎに行きたくなった。でも、体が重たいので転がることができない。みんなで転がしてあげようと、「えい、えい、えーい！」とふんばると…。



【はなび・おまつり】

「みんなのはなび」

おくはら ゆめ/作 岩崎書店 E/ミ

タヌキのボーちゃんたちが夜空を見ていると、花火が上がりました。ずうっと花火を見ていると、ボーちゃんは、目の中まで光ってきたような気持ちになって…。



「どどどーんぱっ!」

とよた かずひこ/作 鈴木出版 E/ド

北極の夏。しろくま一家とアザラシ一家は、らいおんさんを招待しました。そり遊びや花火をして、楽しく遊んだあとは、しろくまさんが作ったかまくらにお泊まりして…。



「はなびドーン」

カズコ G.ストーン/さく 童心社 E/ハ

夜空にあがる、色とりどりの花火。「ドーン」「ピカピカピカ」…。楽しい音やきれいな色・形がいっぱい!



「ねこのはなびや」

渡辺 有一/作 フレーベル館 E/ネ

夜空に打ちあがる花火の数々は、猫の花火師にとって一年に一度の晴れ舞台。小玉、中玉、大玉が景気よくあがる、あがる。



「おまつり」

あずみ虫/著 白泉社 E/オ/ハジメテ

神社のお祭りに、お母さんと一緒にやってきた、くまた。いろいろなものを売っている屋台、威勢のいい掛け声のお神輿、花火…。



「おまつりやさん」

飯野 由希代/作 ひさかたチャイルド E/オ

おまつりに連れていってもらはずだったミキちゃん。でも、パパもママも用事で行けなくなりがち。そこへ、おまつりやさんがやってきて…。



「やたいのおやつ」

ふじもと のりこ/作 鈴木出版 E/ヤ

きょうはお祭り。ずらっと並んだ屋台にわくわく。屋台のおやつ、なに食べよう。たい焼き、りんご飴、かき氷、わたあめ…。屋台の呼び声と本物そっくりのおやつのでつづる、おいしい絵本。



「わんぱくだんのなつまつり」

ゆきの ゆみこ/作 ひさかたチャイルド E/ワ

わんぱくだんは、けん・ひろしくみのなかよし3人組。わんぱくだんがでかけていくと、いつも何かが起こるんだ。今日もなかよし3人で遊んでいると、どこからかお祭りの太鼓の音が聞こえてきて…。

